

## 第4回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会施設部会会議録

- 日時 平成29年6月23日（金）午後6時
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

### 1 開会

進行：地域拠点施設準備室今井

### 2 議題

説明：地域拠点施設準備室今井

#### （1）諸室の配置構成・規模の検討について

説明要旨
<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>資料として、第3回施設部会における諸室の配置構成・規模の検討にかかる主な意見をホワイエ、ラウンジに関することと、2階の会議室、研修室、和室に区分して、まとめている。</li><li>料理研修室については、ふぁーらいとの活用と併せて、今後の検討としている。</li><li>資料として、（仮称）えんがる町民センター建設に伴うアンケート調査集計結果の全体と町民センター利用予定団体を配付しており、各団体の主な活動場所や1ヶ月間の活動日数、時間帯や活動場所の広さ、大会や発表会の開催の有無、一番右の間7では、町民センターを利用するかどうか記載している。4ページから6ページの間8では希望する部屋の広さや設備、間9では自由意見をいただいている。</li><li>茶道連盟からは、茶室として二部屋続きの和室と水屋、床付き炉、掛け軸を掛ける床の間の要望がある。イメージとしては文化研修館。</li></ul>

#### 【意見】

発言者	内容
アドバイザー	炉を切るなら、必ず水屋が必要になります。
横田部会長	福祉センターにはそういった和室はあるのでしょうか。
事務局	ありません。文化研修館に炉もありますが、炭をおこすということで、一酸化炭素中毒の防止のため国から指導があり、現在は使用していないようです。
アドバイザー	現在は電気式のものがあるようです。
コンサル	厳密に言えば、畳の長さなどの基準がありますが、どこまでやるのかということになります。予算に応じてやり方はあると思います。
秋田委員	遠軽高校にも茶道部がありますが、町内にどれくらいやっている方がいるのでしょうか。
事務局	茶道連盟の活動人数は15人となっています。
横田部会長	成人式でも茶道の方が来て来ています。正式には四畳半ということですが、どこまで要望に応えられるかということ。部屋はパーティションで

	区切って、水屋があれば良いのかもしれませんが。
伊藤委員	専門的な施設としては文化研修館があります。また、ふぁーらいとの使い道によっても、変わってくると思います。
佐藤委員	炭はおこせませんが、そういった本格的な施設があるということで、町民センターでは簡易的なものでも良いのではないのでしょうか。
横田部会長	四畳半にこだわらず、水屋は設置するという方向で考えたいと思います。
事務局	遠軽三曲協会からは、国内外の各種ホールで実際に演奏経験のある奏者からも、意見を聞いてほしいという要望が上がっています。
横田部会長	ジャンルによっても変わってくると思います。
高橋委員	ホールの広さにもよると思います。専門家と相談しながら建設して、実際に演奏してみないとわからないのではないのでしょうか。
コンサル	ステージと客席でも聞こえ方は違います。今回は海外でも実績のある永田音響設計に技術協力をいただくこととしていますので、そういったアドバイスもいただけたらと思います。
高橋委員	コストのかからない方法で、残響時間を変えられるようなことは可能でしょうか。
コンサル	残響可変装置については、札幌市教育文化会館や北見芸術文化ホールで実績がありますので、永田音響設計とも相談の上、結論を出したいと思います。
事務局	全体的にリハーサル室を想定するものが多いのですが、それに替わる部屋を検討する必要があるかもしれません。
コンサル	太鼓の演奏については、100 dBを超える音であり、遮音のためには重いコンクリートの壁や二重の壁にする必要がありますが、利用を想定しているリハーサル室は、完全に消すことが難しいと思います。 また、音響反射板については、イニシャルコストを考えながらシステムを検討したいと思います。 車椅子席は4席としていますが、高齢化に向けて引き続き検討課題といたします。 立見席は最後列にスペースを取ることとしています。親子鑑賞室との干渉について考えてまいります。併せてVIPの部屋としての利用も検討します。 倉庫については、福祉センターの使われ方を踏まえて検討したいと思います。
本間委員	福祉センターの地下は、パネルやパーテーション、書類などが入っており、かなり大きな部屋となっています。
コンサル	リハーサル室は、遠軽高校吹奏楽ではパート練習などでの利用があるのでしょうか。
高橋委員	主に演奏会での音出しや音合わせ等、前室的な利用になると思います。
コンサル	小ホールは災害時の利用を想定して、町とのネットワークの構築が必要と考えています。ステージは固定式ということで、前回の会議で方針を定めたところです。

	<p>また、近年の新しくできたホールでは、地域の子どもを大切にするということで、キッズコーナーの整備など長時間滞在できるような工夫をしており、青少年集会室や児童集会室といった機能をラウンジと一体的に考えて、提案したいと考えています。</p> <p>料理研修室は、ふぁーらいとの利用を含めて検討したいと思います。</p>
佐藤委員	小ホールは可動壁ということですが、音の漏れなどについてはいかがでしょうか。
コンサル	最近では性能の高い可動壁もありますが、完全な遮音は難しいと思います。
佐藤委員	ラウンジに検討している、鉄道ジオラマについてはいかがでしょうか。
横田部会長	ふぁーらいとへの設置や、サイズも含めて検討していきます。
佐藤委員	個人的には、2m×4m程度でアクリル板で囲ったものを想定しています。大きくすれば、それに掛かる費用も大きくなります。
アドバイザー	これ以外にも問題はたくさんありますので、準備室とコンサルと打合せをしてから、提案する必要があると思います。
コンサル	大ホールのトイレについては、有料の催事以外の利用も考慮して、使い勝手の良いものにするために、ホワイエの配置を含めて、レイアウトを見直さなければならないと思います。なるべく空間を有効利用できるホールにしたいと考えています。
佐藤委員	プロポーザルの諸条件から、変わってきているのでしょうか。
コンサル	皆様との協議の中で変わっていくものであり、要望に最大限応えられるよう、提案していきたいと思います。
横田部会長	イメージは変わってくるかもしれないということですね。
コンサル	全体の大きさは変えない範囲で、提案したいと思います。
高桑委員	光庭については、雪が降るため使えない期間が長いと思います。
コンサル	窓が覆われるほどの雪はないと考えますが、全体のレイアウトを見直した時に光庭はなくなるかもしれません。
高桑委員	トップライトはどうでしょうか。
コンサル	温室状態となってしまうことや、コーキングが長持ちせず雨漏りの危険性があるということから、トップライトは控えたいと考えています。
伊藤委員	光庭の部分を縮小すれば、部屋が増やせると思いますが、どうなのでしょう。
コンサル	部屋を増やせば面積も増えるということになります。いずれにしても、これまでの議論を踏まえて、見直しをしたいと思います。
横田部会長	全体含めて、再度レイアウトを検討するということです。
事務局	諸室条件シートの内容とアドバイザーの意見を踏まえながら、内容を調整したものを提案したいと思います。ガラッとイメージが変わる可能性があります。メインホールの規模はこれを基本として進めていきます。

## (2) その他

### 【意見】

発言者	内容
横田部会長	前回、見学したふぁーらいとの活用については、いかがでしょうか。
高桑委員	商工会議所や観光協会、商工会などの外部団体が一括でふぁーらいとに入るということは、考えられないでしょうか。
本間委員	商工会議所としては、かねてより町民センターに入りたいということで、主張してきました。
高桑委員	福祉センターに商工会議所が入った経緯はあると思いますが、町民センターに入らなければならないのでしょうか。面積も増えてしまうのではないのでしょうか。
本間委員	それについても、内部で協議した上での要望です。建物ができ上がった後のことも踏まえ、町の活性化を考えて、参画させていただきたいということで、ご理解いただきたいと思います。
高桑委員	ふぁーらいとは町民センターの別館的な位置付けになると思います。例えば、会議室なのか、子どものための施設か、高齢者のための施設か、色々と考えられます。
佐藤委員	全体的にどう考えていくかという話だと思います。
高橋委員	外から人が集まって、お金を落としてもらえる形が良いと思いますが、簡易宿泊所や合宿所といった使い方もあるのではないのでしょうか。音楽に限らず、ラグビーや野球などでの利用もあると思います。
アドバイザー	地方では手づくりのアートマーケットをよく開催しており、人が集まっています。できれば、新たなコミュニケーションの場所となれば良いと思いますし、合宿所というアイデアも大事だと思います。フラットに広くすることで、色々なことに使えます。フリーマーケットや料理教室などの利用も考えられます。
横田部会長	ふぁーらいとの利用については、次回以降も検討課題としますので、引き続きアイデアをいただきたいと思います。

## 3 次回の日程について

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 次回は施設部会と管理部会を併せて、従来の検討協議会という形で、7月19日（水）午後6時から、3階大会議室での全体会議の開催を予定している。</li></ul>

## 4 閉会

（午後7時40分閉会）

## 第4回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会施設部会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	横 田 昌 弘	遠軽町文化連盟	部会長
委員	伊 藤 榮 三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	
委員	本 間 克 明	遠軽商工会議所	
委員	秋 田 博	えんがる商工会	
委員	橋 口 理 教	遠軽青年会議所	
委員	高 橋 利 明	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平 間 喜 弘	遠軽がんぼう太鼓同好会	
委員	高 桑 健 次	一般公募、元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	佐 藤 登	一般公募	
アドバイザー	太 田 晃 正	有限会社時円プランニング代表取締役	
オブザーバー	金 沢 一 彦	経済部建設課長	
オブザーバー	落 合 一 実	経済部水道課長	
オブザーバー	堀 嶋 英 俊	教育部社会教育課長	
事務局	加 藤 俊 之	総務部長	
事務局	斉 藤 隆 雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今 井 昌 幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安 西 一 樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
事務局	中川原 英 明	総務部地域拠点施設準備室	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		2名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		1名
計	21名		